



学校法人  
聖路加国際大学

104-0044  
東京都中央区明石町10-1

<https://www.luke.ac.jp/>

St. Luke's International  
University  
Vision 2030

# Vision

# 2030

## 学校法人聖路加国際大学 中期計画2030

学校法人聖路加国際大学は、2014年に聖路加国際大学と聖路加国際病院の法人一体化を実現させました。大学においては国際通用性のある高等教育機関をスタンダードとすること、病院においては高度急性期病院としての選択と集中を「中期計画2025」の柱としました。このたび、社会・経済環境の急激な変化をはじめ、多くの運営課題に直面する中、新たな中期計画の立案と実施が必要となりました。

当法人は、法人全体に共通する価値観であるコアバリューとして『People-Centered Care (PCC)』を設定したうえで、大学・病院それぞれが4つのコンセプトに基づき基本方針を設定し、2023年度から2029年度末までの「中期計画2030」を策定しました。

### People-Centered Care (PCC)

市民が主体となり、保健医療従事者とパートナーを組み、健康問題の改善に向けて取り組むこと。2003年から、聖路加国際大学が先駆的取り組みとして進めてきた新たなケアの形であり、WHO(世界保健機関)においても、2007年に保健医療サービスの利用者を中心としたケアを発展させるための取り組みの1つとして『PCC』が挙げられ、啓発活動が行われています。



### Message

学校法人聖路加国際大学  
理事長  
佐々木 新一

聖路加国際病院は1901年に開院、1920年には聖路加国際大学が開学し、創設者トイスラー博士の理念や建学の精神は120年もの間、脈々と受け継がれております。それぞれの特長を生かし、相乗効果を発揮させ、他の大学や医療機関にない聖路加ならではの理念を入れ込んだ中期ビジョンを作成し、その遂行に最大限注力しているところであります。この「中期計画2030」が、当法人の理念および基本方針に基づく運営により、社会的責任を果たすとともに、当法人が目指す教育・研究・臨床ならびに経営に資するものとなるよう、努めてまいります。

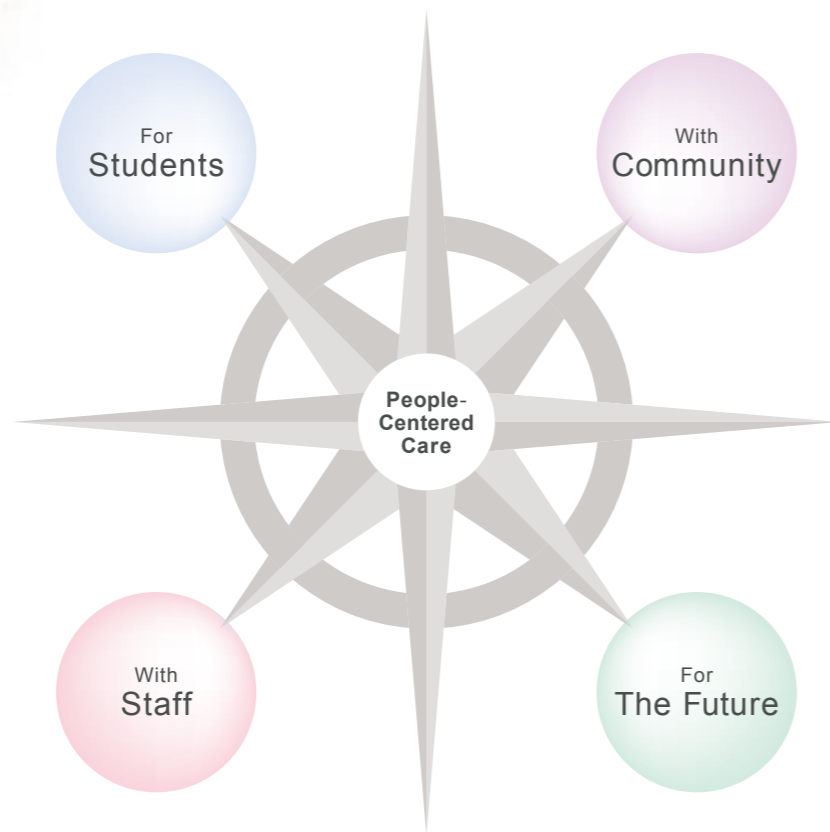


# University

聖路加国際大学

## コンセプト

Vision 2030



### For Students

『知と感性と愛のアート』の追求

- 1 学修者本位の教育を実現する教学マネジメントを構築します。
- 2 時代の変化を見据えた教育改革(教育DXを含む)に取り組みます。
- 3 学生の多様なキャリアを支援します。

### With Staff

人を大切にする

- 6 パフォーマンス向上を実現する教育研究組織の最適化に取り組みます。
- 7 研究環境の向上(DX推進含む)を図ります。
- 8 教職員のワーク・エンゲージメント向上施策に取り組みます。

### With Community

コミュニティと共に歩む

- 4 人生100年時代の生涯教育について取り組みます。
- 5 SDGsへの貢献に取り組みます。

### For The Future

次世代へ価値をつなぐ

- 9 VUCA\*時代に即した内部質保証体制を構築します。
- 10 財務強化と組織レジリエンスの向上に取り組みます。

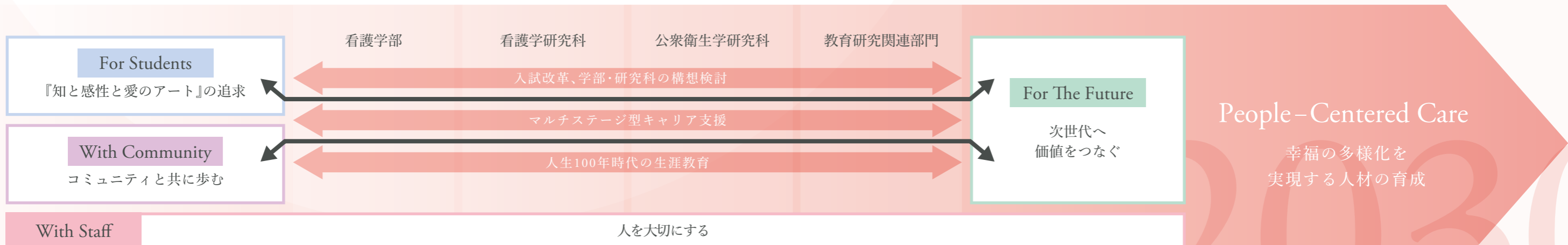
\*VUCA: Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)の頭文字。  
現在の社会経済環境が極めて予測困難であることを表している。



聖路加国際大学 学長  
堀内 成子

People-Centered Care (PCC) は市民を中心としたケアの創造です。中期計画2030では、PCCの実践を通じ、幸福の多様化を実現する人材育成のため、4つの事業枠組みを設定しました。学生が「知と感性と愛のアート」を追求できる人物像に近づくように教育課程を展開し、教育・研究・キャリア支援を行い、創造力豊かな看護学・公衆衛生学分野のリーダーを育成します (For Students)。コミュニティとともに、地域社会の求めに応じた連携・協力体制を築き、社会貢献をより一層推し進めてまいります。開かれた大学として、人生100年時代の生

涯教育を展開し、市民の皆さんとともにケアの創造・健康づくりを追求します (With Community)。教職員は、医療者・教育者・研究者として相応しい行動規範を遵守し、一人ひとりが組織の一員として働くことに「誇り」と「喜び」をもてるような相互協力を努めます (With Staff)。そして未来のために、法令に則り点検評価を行うとともに、事業課題の特定と改善に自律的に取り組み、次世代へ価値をつなぐことに努めます (For The Future)。常に創業者トイスラー博士の言葉“Do your best, and it must be first class - 最善を尽くせ、しかも一流であれ-”を貫きます。



# 2030

# Hospital

聖路加国際病院



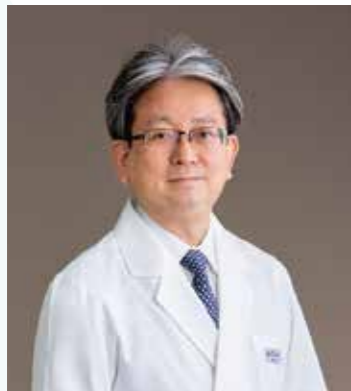
## コンセプト

Vision 2030



1901年創立以来、当院は創設者トイスラー博士の理念の言葉にもあるように「キリスト教の愛の心をだれもがすぐ分かるよう」進化・発展を続けてまいりました。これからも患者さんやその家族の気持ちに寄り添うような医療を提供し、高度な医療の提供から総合病院としての地域医療の役割までを担い、医療の質の向上を目指しています。今回策定した「中期計画2030」は、聖路加看護大学（当時）が2003年から取り組んできたテーマで「市民主導型ケア」と訳されるPCCを取り入れました。医療者は患者さんのパート

ナーであり、患者さんが社会の中で主体的に行動するようサポートすることを指します。検査や治療を受ける、自身の健康問題や生活習慣の改善に努めるなど、患者さんが自ら考え実践できるように、医師や看護師、全ての病院職員が患者さんを支え、必要な医療情報や医療提供を行っていくということです。この考えを基本に、病院の方針を設定しました。2030年を見据えながら、この中期計画に沿って具体的な事業計画を策定し、引き続き予防医療と高度急性期・急性期医療を提供してまいります。



聖路加国際病院 院長  
石松 伸一

## For Patients

一人ひとりを尊重する

- 一人ひとりの多様な価値観や社会的背景に寄り添い、患者自身の意思が尊重される医療を提供するとともに、社会的支援に取り組みます。
  - 患者経験調査の充実と結果の向上を目指します。
  - 患者さんの多様な価値観や社会的背景に配慮した意思決定支援の実践を強化します。
  - 患者さんの多様性に合わせた診療の在り方、設備の整備を推進します。
  - 患者さんの社会的課題に対する支援体制の強化を行います。
- 高度急性期の特定機能病院として、世界水準の安全で総合的な医療サービスを国内外に提供します。
  - 高度な総合医療の提供に取り組みます。
  - ロボット支援手術の拡大を図ります。
  - さらなる医療安全と質の向上・改善活動を実践します。
- 質の高い予防医療から治療までサポートできる、包括的なサービスを提供します。
  - 人生100年時代に備え、病院事業の柱の1つとして「病気を未然に防ぐ」ことに注力し、質の高い予防医療サービスの差別化と充実を図ります。
  - 健診後にスムーズに治療へ移行できるように健診施設と本院との連携を強化します。
  - 検査項目の定期的な見直しなどにより社会のニーズに対応します。
- デジタル技術を活用して医療の利便性の向上と効率化に取り組むとともに、温かみのある医療を提供します。
  - デジタル技術を積極的に取り入れ、患者対応業務の自動化等、オペレーションの効率化と利便性の追求を図ります。
  - オンライン診療の推進を図ります。

## With Community

コミュニティと共に歩む

- 地域・市民の公衆衛生、ヘルスリテラシーの向上に貢献します。
  - 大学との協働による地域・市民のヘルスリテラシー教育を実施します。
  - 患者アドボカシーの実践に注力します。
  - 中央区との包括連携協定の更なる充実を図ります。
- 地域医療をはじめ、災害時や新興感染症等の感染拡大時に、柔軟で適応可能な医療提供体制の強化を図ります。
  - 災害時や新興感染症拡大時に、継続可能な医療提供体制の検討と設備の強化を進めます。
- 地域の医療機関や介護施設等との連携を通じて、シームレスな医療提供を目指します。
  - 地域の医療機関や介護施設ならびに行政等との連携体制の見直しと強化を図ります。

## With Staff

人を大切に

- 多様な働き方を支援するとともに、職員が安全で働き甲斐のある職場環境を提供します。
  - 安心・安全で、働き甲斐のある職場環境と人事制度の整備を行います。
  - デジタル技術の活用やIT化等のDXを推進し、業務の効率化・合理化を図ります。
- 高度な職能教育とともに、幅広い教養と豊かな人間性の向上を支援し、全人的医療の担い手を育成します。
  - 職能教育や教養教育等、職員教育の強化により各職種の専門性を高めます。
  - 当院における専門研修プログラムの在り方の検討を行います。

## For The Future

次世代へ価値をつなぐ

- 次世代の医療を見据え、新しい治療法や医療技術の開発・研究に取り組むとともに、環境負荷を低減する病院を目指します。
  - 地球環境に配慮し、持続可能な社会に相応しい体制を検討します。(グリーンホスピタル)
  - 20数年後に想定される病院施設の建て替えを踏まえ、法人全体の将来構想委員会(仮称)を設置し、将来計画の基本方針ならびに計画立案の検討を進めます。
  - 研究開発支援体制のさらなる強化を行います。
- 病院運営におけるデータの活用を推進します。
  - AIの活用やDXの実践などを通じて、病院運営における医療情報データのさらなる活用を行います。
  - 情報システムの刷新を図るべく、次期情報システムの開発計画を策定し実行します。
- 将来にわたる発展のため、財政基盤の安定化を図ります。
  - 次期病院建設計画を視野に、中長期財政計画に基づき、業収収支の改善と財政基盤の安定化に取り組みます。

# 2030